

答 産直かみごう整備検討委員会を設置し、建設用地、運営方法、販売目標、施設規模等について検討し、他にない特徴的産直を目指すとした。施設整備費は、

問 第二次健全財政5ヶ年計画について伺う。計画期間の5ヶ年間は、大型予算と見込まれる。財源をどこに求めるのか。繰出金が微増傾向だがなぜか。扶

問 上郷の産直の取り組みについて伺う。施設整備に向けた5つの課題の方向づけは。整備費の捻出と建設等の時期は。

農水省の事業活用が見込まれることから、事業申請に向け準備を進めている。平成23年夏前に建設着手、年明け完成の予定。



現在の産直かみごう



産直かみごう 23年の夏前に着工予定

菊池民彌 議員 (新興会)

答 計画を実行するため、普通交付税合併算定替分年間5億円、合併特別債約42億円及び過疎対策事業債と基金の活用を図る。繰出金は、国保、高齢者医療及び介護保険の特別会計への繰出しを見込んでいる。扶助費は、市単独自の福祉施策の内容検証し、適切な見直しをしなければと認識している。財政指標について、平成27年度末目標値を経常収支比率85・5%、実質公債費比率17・0%と設定した。一括交付金制度は、地域主権改革のため、内閣府に地域主権戦略会議を設置

し、この中でひも付き国庫補助金を一括交付金化する方向が取り上げられた。制度の概要は、地域の自由裁量を図るため、23年度から都道府県分に5千億円程度、24年度から市町村分に5千億円規模として交付する制度としている。現時点で交付金は、補助金減額の可能性もあり未確定の状況である。

問 トオノピアプラに掲げられている博物館都市構想の具現化を図っていただくことを提起するがどうか。

答 市全域が、博物館都市として、着実に具現化されている。設置予定の(仮称)遠野文化研究センターが、まちづくりシンクタンクとして、その機能を発揮していく。